

よくある質問



- ☐ いつも乗っている車いすが窮屈そう→①②③④
- ☐ 車いすで姿勢が崩れることが多い、または増えた気がする→①②③④
- ☐ 足が車いすのフットレストから落ちていることが多い→①②③④
- ☐ 下肢装具がきちんとはかされているか不安→①②③④
- ☐ 歩行器での姿勢が悪い（前のめり、左右への偏り）気がする→①③④

ヒント① 基本的な考え方

- 車いすなどの補装具は、**成長と共に調整して使う用具**です。成長期の子どもたちではサイズが合わなくなることは当然です。
- 車いすや装具は、生活や学習の土台です。**きちんと体に合わせてサイズ調整する**必要があります。
- サイズが合っていないことに気づくのは、生活を共にしている保護者や私たち教員の役割です。



- この資料などを参考にして、サイズが合ってなさそうな場合は、**保護者を通じて製作した医療機関等に連絡し、調整してもらいます。**

ヒント② まずは正しく乗る・正しく着ける

車いす・座位保持いす

- ☐ ベルトが付いているものは全部しめる

- ☐ 付属しているテーブルやクッションは毎回使う

- ☐ くつを履いて、足はフットレストの上に

- ☐ お尻は、一番奥までしっかり入れる

- ☐ お尻が斜めに入っていたり、前や左右に寄っていたりしていませんか？

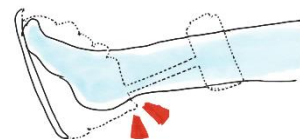
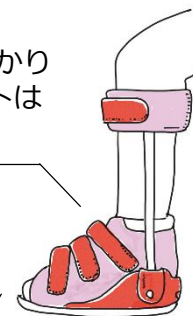


骨盤を上から見た図

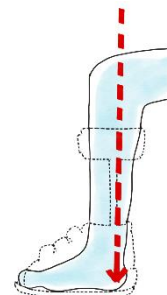
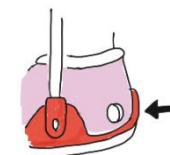
下肢装具・ブーツ

- ☐ 足首のベルトはしっかりとしめる。他のベルトはきつすぎず緩すぎず

- ☐ 指先を広げる



- ☐ かかとをきちんと入れる。かかとに穴があるタイプは、先生の指を入れてかかとが入っているか確認



かかとの入れ方のコツ

ひざが伸びた状態だとかかとが下りてきません。深くひざをまげて、上から圧をかけるようにします

ヒント③ きちんと座ったり着けたりした上で、「サイズが合わなくなっているサイン」のチェック

車いす・座位保持いす

□胸ベルトの位置が低い

お腹のあたりにあって、上半身の支えになっていないなど

□背中が前や横に大きく傾いている



□骨盤のベルトが緩い・きつい

自分でも調整できます

□座面前端と膝の間が空いている

ものの長さが合っていない

□座面とひざ、ももにすき間がある

すねの長さに合っていない、ひざが持ち上がっています

□肩が背もたれより高くなっている（座位保持いす）

背が伸びて、全体の調整が必要です

□ひじがテーブルにうまくつかない

背が伸びて、全体の調整が必要です



ベルト類のベルクロテープのくっつきが悪くなっていますか？
糸くずなどを掃除すると若干回復しますが、交換するのがベストです。

下肢装具・ブーツ



□指がはみ出す

つま先が閉じているタイプは上から触って、指が丸まっているか確認します



□どうしても、かかとが入らない



□靴底のはがれ



□脱いだ後、強い赤みや、皮膚にすれがある

歩行器（例：PCウォーカー）



□まっすぐに立つとグリップが低い

グリップが手首の高さに来るのが適正です



□極端に前のめり、猫背になる

背が伸びて歩行器の高さが不足しています

ヒント④ チェックにひっかかっていたら…



保護者を通じて、製作した医療機関等（主治医、理学療法士等）に確認と調整をお願いして下さい。

補装具も定期検診（？）が必要です。年に一度は、医療機関での確認と調整をしてもらうことをお勧めします。
※この他にも、立位台や体幹装具などいろいろな用具があります。大きくて運べないものは、写真や動画を見てもらうのも良いでしょう。

この資料に関するお問い合わせは・・・

香川県立高松支援学校「からだと学びの相談センター」（087）865-4500